

橘町の見どころ

まちの歴史シリーズ ②9

橘町HP <https://tachibana-net.jp>

歴史・史跡 クリック

発行：橘町まちづくり推進協議会
ふるさと部会
発行日：令和6年11月1日
責任者：國平 安治
原稿作：宮下 正博
事務局：橘公民館 22-3884

今月号の案内者は
南檜崎区長 溝上 正義さん



★印番号の解説

★①平安時代

794（鳴くよウグイス平安京）～1185
（いいハコ造ろう鎌倉）と覚えたね。荘園
と武士の出現が重要なできごとかな。

★②長嶋庄

長嶋荘って荘園のことヲ思うバッツ
ン、いつ頃から、どこにあったと？



たっぱくん

1178年には確実にあった。今の
橘・東西川登・武雄・朝日・北方あた
りにあった^注）と言われているよ。

注）長嶋庄の範囲については諸説あります

★③藤原道長

なして道長さんが出て
くっとやア？



紫式部日記に描か
れた藤原道長

テレビに出とンサ人を
中心に話をした方がよ
かろう？難しかケン。

★④絶頂期は1018年頃

道長さんは娘さんを次々
と天皇さんに嫁入りさせ
て、自分の立場を強くした
んだ。



紫式部さん

★⑤寄進系荘園

11世紀ころ（今からちょうど千年前）か
ら、中央の有力者へ田地を寄進する動き
がみられ始めるんだ。これが寄進系荘園
と言われるものなんだ。



せんげつ たちはな はなし
先月は、橘くんちの話やっ
た。むか～しの潮見神社の祭
りと言え、菊池氏第5代公経
さんが落馬した流鏝馬の話も
あった。その頃の武雄がどん
なようすだったか、タッパ
君、説明バ、お願いすっパイ

え～!! いっきへいあんじだい★①までさかのぼ
ることになるねえ。
では武雄盆地に長嶋庄★②ができるころを
解説するね。今回はちょっと専門的でむつ
かしいけど、つきあってネ

●今NHKでは「光る君へ」のドラマがあっ
て、藤原道長★③や紫式部が登場している
ね。

●道長さんの絶頂期は1018年頃★④

●このころは摂関政治（天皇が幼少なので
直接政治をせずに摂政や関白と言う公家が
代行する）と呼ばれるけど、この頃から全国
各地に寄進系荘園★⑤が広がり出すんだよ。

●治承2年（1178）ころには長嶋庄が成立
★⑥（武雄市史）とされるけど、正確な設立年の
記録がないんだ。

●そこで、長嶋庄について詳しく研究した
のが服部英雄九大教授★⑦で『景観に探る
中世』★⑧と言う論文を書かれているよ。

●今回はそれを基に解説★⑨するね。土地のこ
とはやぐらしかけど、「税金」の元なので、と
ってもたいせつなことなんだね。

★⑥武雄市史では？

武雄市史にはどがん書いちゃーと？

簡条書きで紹介するね。

- 佐賀県内で平安時代に成立したことが文献で明らかな荘園は、長島庄・杵島庄・中津庄・大町庄（以上杵島郡）
- 中津は白石町に属し、大町庄は大町町。
- 杵島庄は治承2年(1178)の後白河院庁の下文の中に唯一出てくる
- 少なくとも治承2年(1178)より数年前から蓮華王院領長島庄が成立していた。



★⑨研究結果

けんきゅうけっか
研究結果はどがんなっと〜と？

研究結果を整理したものが下の表だよ

服部先生の推論^注では

- ①もともと公領だったので、武雄社に毎年寄付が奉納されていた（下図白色）
- ②1114年に「前長島庄（仮称）」が成立荘政所の署名（下図薄赤色の段）
- ③1159年に「前長島庄」がいったん消滅し、翌年に別の「荘園機能」ができたこれは、平清盛の関係でできた（下図薄緑色の段）
- ④1172年に平清盛が「蓮華王院」に長嶋庄を寄贈して「蓮華王院領長嶋庄」が成立した（下図青色の段）

★⑦服部英雄九大教授

どんなことを研究したと？



たけお武雄にも来て、昔から残っている地名を聞き取って、たけお武雄の条里制を復元されたんだよ。発掘調査では、具体的な条里制遺構が出ていないので助かるね。



★⑧『景観に探る中世』

どがん論文ね？

論文は全体が534ページもあるよ。その中の第6章に長嶋庄(武雄)のことが書かれているんだ。

武雄に残っている古文書「武雄社文書」などを分析して、詳しく整理されているよ



今号は服部先生の「景観に探る中世」をもとにしました。右の資料整理は宮下が行いました。

注) 推論では、武雄神社文書の署名者とその花押を比較して、地域の決定者(荘の権力者)を推定されています。明確な記録として記載された文書がないため「多くを推論にたよった」とも書かれています。

景観に探る中世から各時代の変遷を整理する				
区分	結論	古文書文書番号	年	文書形式
A	公領段階	2 (1078) ~ 5 (1788)	1109~1112	貢進状
B	前長島庄成立	6 (1816) ~ 15 (1918)	1114~1121	奉免状
C	〃	17 (1927) ~ 21 (2022)	1121~1124	検田所奉免状
D	〃	文書無し	1125~1158	—
E	前長島庄消滅	22 (3040)	1159	実俚所奉免状
	荘園機能復活 (清盛による 蓮華王院領準 備か)	24 (3118)	1160	
		25 (3192)	1162	
		26 (3254)	1163	
		27 (3449)	1168	武雄社本司藤原貞門解状
F	蓮華王院領成立	28 (3613)	1172	武雄社本司藤原貞門解状
		29 (3737)	1176	武雄社僧寛俊解状
		30 (3749)	1176	藤原貞門解状

今回ご紹介した時代は『平安時代』でした